

福井県老人クラブ連

題字／吉川 壽一 書

発行
一般財団法人 福井県老人クラブ連合会

〒910-0026
福井市光陽2丁目3-22(福井県社会福祉センター内)
TEL.0776-24-4853 FAX.0776-24-4580
E-mail : fukuirr@yacht.ocn.ne.jp

2018 Vol.152

平成30年1月

～のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを～



「みまわり隊」～子ども見守り活動～
大野市 大野長生会第26クラブ



平成26年度に会員の有志で「みまわり隊」を結成し、地元小学校児童の登校を見守る活動に取り組んでいます。結成当初は、毎週一回、月曜日のみの活動でしたが、続けていくうち「雨が降る日、雪が降る日も危険だから…」とだんだん見守る日が増えていき、今では、毎朝10名の会員が交差点8ヶ所に立ち続け、誘導、声かけを行っています。

毎朝の子ども達の元気なあいさつに、私達も元気をもらっています。何よりうれしかったことは、学校のイベントに招待されたことです。子ども達と交流し、楽しいひと時を過ごすことができました。そして、子ども達から私達一人ひとりに手渡されたお礼のメッセージ入りの感謝状は、「私達の宝物」となっています。

目次

知事・会長あいさつ	2
第46回 全国老人クラブ大会	3
第44回 福井県老人クラブ大会	4
公式ワナゲ大会・趣味の作品展	6

各地の活動から	8
会員増強運動	10
平成29年度・市町別友愛募金配分状況	11
老人クラブ傷害保険のご案内	12

新年のごあいさつ 福井県知事 西川 一誠



福井県老人クラブ連合会の皆様、新年あけましておめでとうございます。お健やかに新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

さて、昨年は、中部縦貫自動車道が大野まで延伸し、県内のすべての主要都市が高速道路網によって結ばれました。北陸新幹線は、五年後の敦賀開業に向けた準備が着実に進展するとともに、小浜経由で京都・大阪に向かう若狭ルートも正式に決定いたしました。福井の立地条件は段と高まり、将来の大きな夢が描きやすくなりました。

また、開発に何年もの歳月をかけた美味いお米の決定版「いちほまれ」が販売を開始し、越前焼や北前船寄港地の日本遺産への認定、海外クルーズ客船の初寄港、教育総合研究所・博物館の開設、子どもたちの学力・体力全国トップクラスの維持など、幸福日本の福井を強く発信できた年になりました。

新しい年は、こうした優れた力を土台に、交流新時代にふさわしいまちづくり・観光の加速、幅広い企業誘致と人材確保、農業の収益拡大と国の米政策への対応、環境や健康・医療、福祉の新たな計画に基づく施策の充実など、あらゆる分野の対策を強化し、県勢のさらなる躍進に全力をあげます。

そして九月には、「福井しあわせ元気国体・障スポ」を開催します。明治維新百五十年という記念すべき年に当り、多くの来県者に福井の魅力を知っていただけるようおもてなしに万全を尽くすとともに、関係者が一丸となって競技力の最後の仕上げを行い、総合優勝をめざしてまいります。

老人クラブの会員の皆様におかれましては、豊富な知識や経験を活かし、生きがい・健康づくりを進められるとともに、地域の支え合い活動の担い手としても、「活躍いただきますよ」期待申し上げます。

年頭に当たり、福井県老人クラブ連合会のみならずの発展と会員の皆様の健康長寿をお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。

新年のごあいさつ 福井県老人クラブ連合会 会長 八十島 幸雄



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはお元気で新春を迎えられましたことを心からお喜び申しあげます。

さて、私たち老人クラブは、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をメインテーマに掲げ、健康づくり、友愛活動、奉仕活動に取り組んでまいりました。

近年、介護保険制度の改正で、比較的軽度の要支援者のサービスが市町が行う「新地域支援事業」に移管されたことにより、県内の市町においても実情に応じた多種・多様な取り組みが行われています。これらの事は、私たち高齢者にとって重要で深いかかわりを持つものであり、安全・安心の住みよい地域づくりのために、元氣な高齢者の知識や経験が求められています。

私たちも、こうした地域社会の期待に応えるため、地域の中で互いに支え合い、自分らしい活躍の場を目指してまいります。そして、今日までに培ってきた健康づくりや、一人暮らしの在宅訪問やサロン活動をいま、多世代や関係団体と連携して地域とともに取り組むことにより、地域からの老人クラブ活動への理解が進み、高齢者の輪が広がるものと信じております。

私たち老人クラブでは、平成26年度より平成30年度までの5年間「100万人会員増強運動」を展開しており、当県老連においてもこれに呼応して「1万人会員増強運動」を推進してきました。この運動も最後の年となり、今年も私たちは「新地域支援事業」の端を担い、活動していくことを通じ仲間を増やす運動につなげて参りたいと思います。会員皆様の協力をお願い申し上げます。

また、本年は50年ぶりに「福井しあわせ元気国体」が開催され、県下各地で競技が展開されます。会員の皆様にはボランティア活動や様々な立場で参加していただき、福井国体を盛り上げて参りましょう。

年頭にあたり、会員の皆様の更なる活躍を心から「祈念申し上げ新年のあいさつと致します。

本年もよろしく
お願いします



顧問	西川 一誠	(越前市)
会長	八十島 幸雄	(福井市)
副会長	早 誠	(小浜市)
理事	藤本 澄子	(鯖江市)
	竹中 弘	(敦賀市)
	山本 鐵夫	(大野市)
	伊藤 俊一	(勝山市)
	山下 忠	(鯖江市)
	浅田 茂吉	(あわら市)
	五十嵐 三男	(坂井市)
	和田 高枝	(永平寺町)
	相本 正勝	(池田町)
	杉本 哲男	(南越前町)
	池上 栄一郎	(越前町)
	植村 光男	(美浜町)
	山下 孝之	(高浜町)
	湯上 忠明	(おおい町)
	中島 正昭	(若狭町)
	高松 康二	(星加波町)
常務理事	田中 喜吉	(星加波町)
監事	廣部 重紀	(福井市)
	森 茂樹	(敦賀市)
評議員	西川 征男	(福井市)
	今田 一榮	(坂井市)
	和田 昭十四	(永平寺町)
	三上 利明	(鯖江市)
	福住 純一	(越前市)
	岩本 康久	(小浜市)
	三田 幸男	(高浜町)
	重久 博子	(福井市)
	船木 麻央	(星加波町)

第46回全国老人クラブ大会

～京都府京都市にて開催～

10月18日・19日の二日間、京都府京都市において第46回全国老人クラブ大会が開催されました。全国から1600名余りの会員・関係者が参集し、本県からは27名が参加しました。

大会の二日目は

第1部会 老人クラブ活動を新地域支援事業に活かす

第2部会 組織的推進による会員増強運動の展開

第3部会 演じる活動

の三つの活動交流部会が設けられ、第1・2部会では事例発表を中心に活発な情報・意見交換が行われました。なお、八十島幸雄県老連会長が第1部会の座長を務めました。そして、第3部会「演じる活動」では、創作舞踊劇、男性コーラスなど6団体により



ステージ発表が行われ、併せて活動状況なども報告されました。

二日目は、八幡市老連女性部による手話コーラス「京のわらべ歌」での京都の町の案内に始まり、真宗大谷派僧侶・アナウンサー川村妙慶氏の「心の荷物をおろす108の知恵」一人一人が輝く生き方に」と題した講演、アトラクションとして宮津祭「浮太鼓」が披露されたあと、式典では、厚生労働大臣表彰、全国老人クラブ連合会会長表彰、大会宣言の採択が行われ、最後に「青い山脈」を全員で歌い閉幕しました。



厚生労働大臣表彰

- ◇老人クラブ育成功労者表彰
堀内 英治(前県老連会長)
藤本 澄子(県老連副会長)
- ◇優良老人クラブ表彰
佐田東・西老人クラブ(美浜町)
- ◇優良老人クラブ連合会表彰
池田町老人クラブ連合会

全国老人クラブ連合会会長表彰

- ◇育成功労表彰
福田 稔(前県老連評議員)
- ◇優良老人クラブ表彰
竹中 弘(県老連理事)
- ◇優良老人クラブ連合会表彰
舟津寿会(あわら市)
- ◇優良老人クラブ連合会表彰
中名田老人クラブ連合会(小浜市)

第2部会「組織的推進による会員増強運動の展開」助言者より

(助言者：元日本福祉大学教授 中川晴夫 氏)

○老人クラブ会員の加入・組織化に関わる諸課題

- ◆老人クラブが「内向性症候群(シンドローム)」に陥っていないか
- ◆どのような「組織づくり」「仲間づくり」をめざすのか
 - ①「無気力・無関心・無責任」から「共感・共鳴・協働」の活動へ(であい⇒ふれあい⇒わかちあい・育ち合いの活動へ)
 - ②「去る者は追わず」から「去る者を追う」活動へ
 - ③「来るものは拒まない組織」から「来なくなる組織づくり」へ

○リーダーのための覚書

- ①活動は「やりたい」と思ったときが一番の旬・指導者は、始動者
- ②課題を抱えた人たちのニーズに応えるのが基本(「傾聴」が大切)
- ③「気が付き人間」を育てよう
- ④すべての人間は違うということを前提に(「十人十色」「異なる価値観」)
- ⑤異質集団づくりを進めよう(「同質集団の中では人間は成長しない」)

社会的な孤立が進む中で、あらためて地域の絆をどう回復させるのが問われている。これこそ、老人クラブ活動の原点である。

(大会資料より一部抜粋)

第44回 福井県老人クラブ大会開催

第44回福井県老人クラブ大会が、10月25日勝山市民会館において盛大に開催され、県下17市町連合会の代表約600名が参加し、会員増強、健康づくり、地域支援活動の推進などを誓いました。



第1部式典は、伊藤俊・勝山市高連会長の歓迎のことに始まり、八十島幸雄県老連会長が「新地域支援事業は、健康づくり・介護予防活動、見守りやサロンといった友愛活動等、私たちがこれまで取り組んできた活動の延長線上にある。これまでの活動をさらに一歩進め、

誰もが住み慣れた場所で安心して暮らすことのできる地域づくりを担っていきましょう」と挨拶。続いて西川知事より勝山市の福田稔さんから15名の方に県老人クラブ育成功労者知事感謝状、八十島会長より長年にわたる活動に貢献された個人29名と優良クラブ7団体に県老連会長表彰が贈られました。また、活動賞6団体と会員増強運動表彰として会員数10名以上純増のクラブ15団体が表彰されました。

第2部では、全国老人クラブ連合会事務局長の谷野香氏が「老人クラブの歴史と現状、これからの活動」と題して講演、本県の老人クラブの歴史にも触れました。この後、地元アトラクションでは園児達による元気いっぱい組体操や地元老連女性部の踊り、左義長ばやし保存会メンバーによる左義長太鼓が披露され、最後に大会宣言の採択、来年度開催の高浜町での再会を期して閉会となりました。



平成29年度

福井県老人クラブ 育成功労者知事感謝状被贈呈者

八木 繁太郎 (福井市)	山本 昭 (越前市)
市橋 洋子 (福井市)	五十嵐 二三男 (坂井市)
戸田 富三 (敦賀市)	福田 務 (永平寺町)
池田 禎夫 (小浜市)	宇原 好 (池田町)
島田 一成 (大野市)	向當 みつ子 (越前町)
福田 稔 (勝山市)	原 智津榮 (美浜町)
山下 忠 (鯖江市)	川尻 孝子 (おおい町)
丸子 須美子 (あわら市)	

平成29年度

福井県老人クラブ連合会 会長表彰

老人クラブ育成指導功労者表彰

板谷 悌三 (福井市)	古畑 昭正 (あわら市)
平馬 菊子 (福井市)	熊野 哲夫 (越前市)
居村 信夫 (福井市)	土井 三千 (越前市)
竹澤 輝治 (福井市)	帰山 利英 (越前市)
大村 敏夫 (福井市)	向嶋 幸子 (越前市)
赤井 勇夫 (福井市)	堤嶋 甫 (坂井市)
中川 賢一 (敦賀市)	中林 道男 (坂井市)
森 茂樹 (敦賀市)	宮嶋 昭市 (坂井市)
高木 光夫 (敦賀市)	水野 政男 (永平寺町)
松井 勇於 (小浜市)	野村 妙子 (南越前町)
松田 一郎 (大野市)	橋谷 博司 (越前町)
九頭龍 加代子 (大野市)	原 榮子 (越前町)
齋藤 正之 (鯖江市)	清 吉一 (鯖江市)
宇野 須恵一 (鯖江市)	庄司 庫雄 (おおい町)

優良老人クラブ表彰

栗野地区老人クラブ連合会	(敦賀市)
国富地区老人クラブ連合会	(小浜市)
大野長生会第26クラブ	(大野市)
金津第1老人クラブ	(あわら市)
花みずき会	(越前市)
吉野第一老人クラブ	(永平寺町)
宿寿会	(越前町)

会員増強運動表彰

中藤島東部長寿会	(福井市)
丸山福寿会	(福井市)
東郷弥生会	(福井市)
富田老人会	(勝山市)
下新庄老人クラブ	(鯖江市)
延寿会	(鯖江市)
定次福寿会	(鯖江市)
蓬萊クラブ	(越前市)
花みずき会	(越前市)
北日野第1クラブ	(越前市)
浜四郷長寿会	(坂井市)
木部新保クラブ	(坂井市)
芝原元気クラブ	(永平寺町)
湯尾長寿会	(南越前町)
白寿会	(おおい町)

「100万人会員増強運動特別賞」
全国老人クラブ連合会会長表彰

蓬萊クラブ	(越前市)
-------	-------

平成29年度 活動賞

全国老人クラブ連合会会長表彰

六条地区老人クラブ六寿会	(福井市)
松岡地区健康長寿クラブ連合会	(永平寺町)

福井県老人クラブ連合会会長表彰

神明地区老人クラブ連合会	(鯖江市)
不老長寿会	(越前市)
池田町老人クラブ連合会	(池田町)
鑄物師シルバークラブ	(南越前町)

大会宣言

老人クラブでは、これまで地域の一員として、健康づくりや友愛活動を通じ支援を必要とする高齢者の見守りや日常的な生活支援に取り組んできました。

高齢者が増え続けるわが国は、要介護者の増加や高齢者の孤立、消費者被害などの課題に直面する中、介護保険制度の見直しで、各市町では、新地域支援事業に取り組み、高齢者を行政や地域団体などと協働して支える体制の整備が求められています。

私たち老人クラブは、これまでの活動経験をもとに、市町が行う新地域支援事業に参画し、高齢者が住み慣れた地域で安心して長く暮らし続けられるよう事業活動に取り組んでいきます。

また、仲間の輪を広げる会員増強運動は、5年計画の4年目を迎え、これまでの声かけや体験型の勧誘に加え、自治会と連携した取り組みを行うなど、運動の強化を図る必要があります。

平成30年には、本県において「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」が開催されます。スポーツの感動を広め、未来へつなげる国体を実現するために、県民が一体となった気運の醸成が求められています。

「小さくてもキラリと光る 誇りと活力に満ちたふるさと」ここ勝山市に集う老人クラブ代表者は、「のぼそう!健康寿命、担おう!地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、福井県老人クラブ
「1万人会員増強運動」の推進
- 一、高齢者の暮らしを支える
「新地域支援活動」への参画
- 一、健康寿命をのぼす
「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、消費者被害防止に向けた活動の実践
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立
- 一、国体に向けた「宣言」の実践
(平成27年6月16日 会長会議において採択)

平成29年10月25日

第44回 福井県老人クラブ大会

○老人クラブの歴史

◆老人クラブ前史

尚齒会・講(念仏講・頼母子講・無尽講など)が源流

※尚齒会(しょうしかい、しょうしのえ)

⇒「尚齒」とは高齢を尊ぶこと。「尚」は尊ぶ、「齒」は年齢の意。

⇒平安時代、元慶元年(877年)に大納言南淵名卿が京都小野山荘(現・赤山禅院)において高齢者(7叟)と集い、詩歌・遊楽を楽しんだ。

◆尚齒会の変遷

平安時代：貴族の高齢者の集い

江戸時代：領主の領民サービス

明治時代：庶民の敬老行事・地域高齢者の集い

◆戦後の老人クラブの始まり

戦後の荒廃した社会にあって、「老後の幸せは自らの手で開こう」とする先覚者たちが、老後に不安を感じている老友や、老後の問題に関心を寄せる人々に呼びかけ、次々に老人クラブを結成していった。

◆福井県の老人クラブ

昭和32年：初めて藤岡村老人福祉会が誕生

昭和33年：福井県老人クラブ連合会が発足(389クラブ、12,717名)

昭和34年：県下ほぼ全域にクラブが結成される(828クラブ、33,135名)

※藤岡村…現在の福井市中心部の東方一帯(一部、講演資料より引用抜粋)

～輪で 話と 和を～

県老連会長杯公式ワナゲ交流大会開催

県老連会長杯公式ワナゲ交流大会が、11月17日福井市の健康の森けんこうスポーツセンターにおいて開催され、17市町から選抜された299名の選手が出場しました。

競技は、午前に個人戦、午後には各市町老連選抜10名による団体戦と団体戦に出場しない選手による交流戦を行い、いずれも単独投輪方式3ゲームの合計点で順位を決定しました。

選手の皆さんは、日頃の練習の成果を発揮しようと真剣な眼差しで一投を投げ、今回パーフェクト達成者も11名と、選手の集中力とレベルの高さがうかがえました。会場では、高得点が出る度、拍手と歓声が沸き、緊張感漂う中にも和気藹々としたムードが感じられ、大会はおおいに盛り上がりました。また、公式ワナゲ初心者の方も出場し、競技志向の方のみならず多くの方が楽しめる大会となりました。

熱戦の結果、個人戦では越前町の青山高四さんが二連覇を達成しました。その他の結果は次のとおりです。また、今回の最高齢プレイヤーは越前市の男性91歳でした。

団体戦

優勝 福井市
準優勝 あわら市
第3位 越前町

個人戦

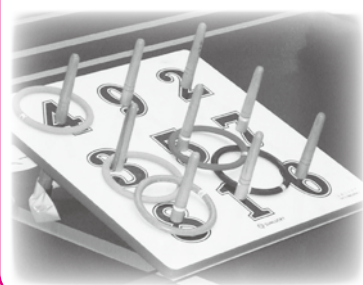
優勝 青山高四(越前町) 660点
準優勝 斉藤達雄(福井市) 630点
第3位 小口浅男(福井市) 600点

交流戦(1位)

60～69歳 男子 1位	益留幸雄	女子 1位	多田静江
70～74歳 男子 1位	下家征男	女子 1位	獅子原ゆり子
75～79歳 男子 1位	高山国男	女子 1位	伊藤久子
80～84歳 男子 1位	木村桂一郎	女子 1位	沢田浩子
85歳以上 男子 1位	高尾茂市	女子 1位	竹田善江



公式ワナゲ豆知識



133gのリングを2m離れた位置から投げる公式ワナゲには、

①**バランス感覚** ②**調整力** ③**筋力を養う** といった運動効果があり、「考えて投げる」ゲームは頭の柔軟な働きを育てます。

両足を踏ん張って膝の屈伸を利用して投げると、自然とスクワットのように足腰を鍛えることができます。**1ゲーム行くと、およそ90m歩くのと同じ程度のカロリーを消費**するそうです。

公式ワナゲは年齢に関係なく、冬場もできるニュースポーツです。皆さんも始めてみませんか？



やってみよう！楽しもう！ 公式ワナゲ大会対策！

大会開催にあたり、講師としてお迎えした日本ワナゲ協会
公認講師 西尾 和久 氏 にお聞きました。

大会で練習の
成果を発揮する
には…？

早く距離感を掴むことが大切です！

大会ともなれば大きな会場でたくさんの輪投げ台を並べます。奥行や輪投げ台の間隔が広く天井も高いです。私たちは輪投げ台だけでなく周りがある様々なものを無意識に見ながら距離感を掴んでいます。そのため大会会場では上手く距離感を掴むことができていません。普段から輪投げ台を置く場所、投げる方向を変えるなどしながら練習すると良いでしょう。

良い点数を
取るには…？

①横の列から狙いましょう！

縦の列を狙うと投げる距離感が変わり、力加減が難しくなります。横の列であれば同じ力で投げればいいので、手前・真ん中・奥と3通りの力加減で済みます。

②苦手な数字を集中的に練習しましょう！

投げる順番を決めるのも良いですが、そうすると最後に狙う棒はどうしても練習不足になります。(1本外れた場合、投げないまま終わる)

③最後はやはり地道な練習が一番です！

距離感を掴むことも方向性も安定性も練習量がものを言います。どうすれば上達するのか考えながら練習するのも公式ワナゲの楽しさです。

ふくい健康長寿祭2017「趣味の作品展」開催

「ふくい健康長寿祭2017」の生きがい関連イベント「趣味の作品展」が、9月16日勝山市民会館において本会主管により開催されました。

会場には畳一畳程の大きさの迫力ある工芸品や繊細で細やかな手芸品、絵画、書等、県内各地の老連より出展された94点の力作が並び、見応えのある作品展となりました。当日は生憎な空模様でしたが、来場された方も巧みな腕前に感心することしきりで、元気高齢者を県民にアピールすることができました。

今年度も審査員により大会長賞1名を、来場者の投票により県老連会長賞5名を決定いたしました。なお、今回は最高齢出展者102歳の方に特別賞が授与されました。



ふくい健康長寿祭大会長賞

中村 厚見(勝山市) 工芸「竹絵画」

福井県老人クラブ連合会会長賞

第1位	加藤 肇(鯖江市)	絵画「肖像画」
第2位	小泉 良男(越前市)	木工「こね鉢」
第3位	沢田フジエ(鯖江市)	手芸「ちりめんの節句飾り」
第4位	鈴木 花江(越前市)	工芸「コスモス」(押し花絵)
第5位	伊藤 和子(勝山市)	工芸「ピエロ」(切り絵)
特別賞	定政ヲユリ(鯖江市)	絵画



各地の活動

2017活動賞受賞団体の活動から

「エコ活動」の啓発

福井市 六条地区老人クラブ六寿会

平成23年度から、地域の小学生児童との交流活動を通して「エコ活動」の啓発に取り組んでいます。夏休み期間中には、エコ活動「特別共同学習」を企画し、児童と一緒に地球温暖化や太陽光発電等の講義を聞いたり、エコ物品づくりや太陽光を利用した実験等を行っています。さらに、年に1度、児童と給食を共にしながら、昔の物が無かった時代の食べ物の話や遊び、地域の建物や風景、乗り物の移り変わり等を話題に話し聞かせ、エコ活動に対する関心を深めています。また、毎月10日を「トレイの日」と定め、あいさつ運動も兼ねて、児童がトレイや牛乳パック、アルミ缶などを持参し、会員が分別収集してステーションまで運んでいます。



世代間交流として始めた活動ですが、この活動を通して児童のみならず各世代に「エコ活動」への認識が高まりつつあります。今後は地域全体に拡大することを目標に活動を続けていきたいと思っています。

福井地震の教訓、紙芝居で次世代へ

永平寺町 松岡地区健康長寿クラブ連合会

今から69年前に起きた福井大震災。その体験者も高齢化し、年々減少するなか、悲惨な体験を教訓として次世代へ語り継ぐために、平成28年6月28日、福井震災の日を発足日として「語り部の会」を設立しました。

まず、実態把握のため震災を体験した高齢者取材しました。また、全世帯にチラシを配布して体験談を募集し、それを基に紙芝居を作成しました。紙芝居を使った語りには臨場感があり、体験者自身の震災時の不安や孤独、恐怖をストレートに伝えることができました。



現在は、語り部として小中学校、公民館及び福祉施設等をまわり、紙芝居を通して震災を体験したことのない人や若い世代にも、震災の恐ろしさ、防災の大切さを伝えていきます。なお、現在、集まった体験談による記録集を作成中です。

門松づくりで地域に貢献

鯖江市 神明地区老人クラブ連合会

毎年12月になると、地区の公民館及び隣接する施設の玄関先に設置する門松を、20数年来つくり続けています。それぞれ1対ずつ計4ヶ所に設置しますが、材料となる竹、松、熊笹、葉牡丹、南天、囲い用の藁等は、各会員が地区内の山林や畑から集めたもので、各会員がそれぞれ持っている技能を活かしつつ、20〜30名が参加して、皆が一致協力して作り上げています。

この活動を続けることで、地域に貢献しているという意識が高まり、会員同士の連帯感も生まれています。



男性も参加しやすいサロンづくり

越前市 不老長寿会

サロンの取り組みで、地域の高齢者の健康づくりを図っています。比較的女性の参加者が多いサロンの中で、「男性が参加しやすい体制」を作ろうと、男性と女性の二組を設け、



閉じこもりがちで男性にも参加を呼びかけています。以来、それぞれ年間計画を立て活動していますが、男性サロンには最近若手の入会者もあつて、各例会の参加者数も増加傾向で楽しく例会が続いています。人気はやはり年齢を問わず、スティックリングや囲碁ボールなどのニュースポーツで、年間行事にも多く取り入れています。

また、講師を招いての介護教室、小学生との囲碁ボール交流会、忘・新年会は合同の開催です。特に新年会は両サロンあがての交流会で、会場となる公民館ホールでは男女入り交じつてのスポーツ大会で盛り上がりがあります。

今後も、健康年齢を高め、元気な高齢者づくりに寄与し、支え合い助け合いの仲間づくりを目指していきます。

「友愛温泉サロン」の運営

池田町老人クラブ連合会

冬になると引きこもりがちで一人暮らし高齢者を対象に、平成21年度より町の温泉施設で毎年1～3月までの冬季限定の3ヶ月間、各月に1回健康講座を開催しています。

「友愛温泉サロン」と名付けたこのサロンでは、主に老人家庭相談員が中心となつて会場設営や準備、運営等を受け持っています。内容は、町の保健師を招いての認知症予防講座や減塩講座、女性部会員によるレクリエーション等で、温泉施設ならではの入浴タイムなども設け交流を図っています。



サロンを実施することで、一人暮らし高齢者の状況把握もでき、また、参加対象を老人クラブ会員限定としているので、冬になるとこのサロンに参加したいがために老人クラブ会員になる方もおられ、加入促進にもつながっています。

子ども達と「不動ヶ滝」登山

南越前町 鋳物師シルバークラブ

地元の幼保連携型施設「南条こども園」の年長園児の野外活動支援として、毎年「不動ヶ滝登山」の案内と安全指導を実施しています。



コースは事前に下見をし、滑りやすい橋の補修や水辺の石整理、山道の下刈り、案内板の準備等を行い、子ども達の安全と危険回避の指導方法なども研究して子ども達を受け入れています。当日は、山に生成する植物の話や獣害対策、砂防ダムについても話をしながら登り、お不動さんでは、お参りの仕方を子ども達に説明し、一緒に手を合わせます。

若者が農林業に関わることが少なくなつた中、山が人間生活にとって大切なものだということを知らせる手立てになればと思っています。



会員増強運動

いくつになっても夢を持って

「北府三丁目夢クラブ」立ち上げ

越前市いきいきシニアクラブ連合会

東地区 北府三丁目夢クラブ

会長 大久保恵子

◆日頃からの地域のつながりを

私が引つ越してきた頃は新興住宅がどんどん増えていたこの町内も、30数年が経った今では、核家族化が進み、高齢者世帯、一人暮らし世帯、そして空き家や空き地が目立つようになりました。また、町内には婦人会や壮年会といった地域活動団体もなかったため、地域のつながりも希薄になっていました。今後の益々の高齢化を考え、「日頃からの地域のつながり」の重要性を感じていたところ、平成27年春に町内会長をお受けすることになり、まず真っ先に浮かんだのは「シニアクラブ（老人クラブ）を作らなくては」という思いでした。

◆町内でシニアクラブの必要性を確認

私自身具体的な知識がなかったので、まず市の連合会を訪ね「シニアクラブ」についていろいろ教えていただきました。その後、町内の

役員会で提案。社協や地区のシニアクラブの代表の方にご協力をいただき勉強会を2回開催。続いて班長会で提案。シニアクラブの必要性などを学習し結成を確認しました。



役員は、個人的なお付き合いの中から二本釣りをお願いし、これからのクラブのあり方について話し合い、規約案を作成。そして町内の全戸に会員募集のチラシを配布。「少人数でも良いからまずは活動を」と考えていたところ、結果的に41名でのスタートとなりました。会の名前は、総会のアンケートにより「北府三丁目夢クラブ」と決定。いくつになっても夢を持つてゝとの思いからです。

◆サロン活動と地域で子育て

立ち上げと同時にサロンも開設しました。町内には集会場が無く、活動は町内の福祉施

設を利用していただいています。施設に入所されている方も私たちの会に参加されています。一方でこの施設が地域に開放しているサロンにも私たち会員が参加し、シニアクラブと施設、お互いに相乗効果を生んでいます。

また、核家族の中で若い人達は仕事や子育てに大変。私たちシニアがお手伝いできればと、ラジオ体操や交流会、クリスマス会などを企画して子ども達と交流を図り、「地域で子育て」を目指して活動しています。

◆シニアクラブの出番！

持論ですが、勘違いでも誤解でも錯覚でも、誰かのために役立っている、必要とされていると感じることは大きな生きがいにつながると思います。クラブを発足して丸2年、「顔見知りの人が増えあいさができるようになった」という声も聞かれるようになりました。これからシニアクラブの出番。みんなの元気の源、地域の元気の源となれるよう、みんなで知恵と力を出し合って活動を続けていきたいと思っています。

※越前市東地区では、「北府三丁目夢クラブ」立ち上げがきっかけとなり、同地区に5つの単位クラブが次々と誕生しました。

友愛募金にご協力ありがとうございました

昭和48年から始められた友愛募金運動も昨今の厳しい経済状況の中でありながら、会員皆様の温かい心と、会長様他関係の皆様のご理解、ご協力をいただき、平成29年度も9,448,102円と多くの浄財が寄せられました。

厚くお礼申し上げます。

お寄せいただきましたこの募金は、委員会にお諮りし、627名の在宅療養している老友および、その介護にあたるご家族へのお見舞い品や火災などの災害見舞金のほか、クラブ活動に必要な助成費や地元市町老連が行う友愛活動事業費にあてさせていただいております。

なお、閉じこもり防止や仲間づくりを目的とした老連独自のサロン活動の充実に、今年度も10%の還元を地元市町老連に実施しましたので、積極的な取り組みをよろしくお願い致します。

在宅療養高齢者・
介護者の御見舞品

今治タオルセット

御見舞品を受け取られたご家族からは、皆様の活動が心の支えになっていると御礼の電話や手紙が届いています。

平成29年度 市町別友愛募金配分状況

市町名	会員数(人)	総額 100% (円)	県老連納入額 40% (円)	市町活動費(還元金) 50% (円)	ふれあい活動資金(還元金) 10% (円)
1 福井市	8,802	988,440	395,376	494,220	98,844
2 敦賀市	4,747	745,961	298,385	372,980	74,596
3 小浜市	3,214	518,186	207,275	259,093	51,818
4 大野市	3,324	625,097	250,039	312,548	62,510
5 勝山市	1,762	337,360	134,944	168,680	33,736
6 鯖江市	3,695	670,310	268,124	335,155	67,031
7 あわら市	3,220	518,968	207,587	259,484	51,897
8 越前市	6,901	1,258,167	503,266	629,084	125,817
9 坂井市	4,624	813,765	325,506	406,883	81,376
10 永平寺町	1,835	356,535	142,614	178,268	35,653
11 池田町	505	101,594	40,638	50,796	10,160
12 南越前町	1,786	352,969	141,188	176,485	35,296
13 越前町	3,517	654,090	261,636	327,045	65,409
14 美浜町	1,840	303,000	121,200	151,500	30,300
15 高浜町	2,445	385,160	154,064	192,580	38,516
16 おおい町	1,326	245,700	98,280	122,850	24,570
17 若狭町	2,990	572,800	229,120	286,400	57,280
計	56,533	9,448,102	3,779,242	4,724,051	944,809

「活動教材」のご紹介

『いきいきダイアリー』（発行元：全国老人クラブ連合会）

「いきいきチェック」は、いきいきとした1日を送る意欲や気力を引き出すきっかけづくりにつながる10項目です。ダイアリーには12か月分のチェックシートをはじめ10項目の解説等が掲載されています。

閉じこもりがちな高齢者やクラブ活動への参加が少なくなっている方々の、いきいきとした毎日を応援する教材としてご活用ください。

【1冊200円（税込・送料別）】

※お問い合わせは、県老連事務局(0776-24-4853)または最寄りの市町老連事務局まで



注意

架空請求のハガキに気をつけて！

ハガキによる架空請求が急増しています。連絡すると、電話番号などの個人情報が知られ、お金を要求される恐れがあります。絶対に連絡しないで無視しましょう。

＜架空請求のハガキの例＞

何の料金かわからない

会社名がはっきり書かれていない

本物だと思わせるような管理番号等が書いてある

覚えがないんだけど…

公的機関からの通知だと思わせる

総合消費料金に関する 訴訟最終告知のお知らせ

この度、ご通知いたしましたのは、貴方の利用されていた
契約会社、ないしは運営会社側から契約不履行による民事
訴訟として、訴状が提出されましたことをご通知いたします。
管理番号(え)584 裁判取り下げ最終期日を経て訴訟を開始
させていただきます。なお、ご連絡なき場合、原告側の主張
が全面的に受理され、執行官立ち合いの元、**給料差し押え
及び、動産、不動産物の差し押さえ**を強制的に履行させて
いただきますので裁判所執行官による執行証明の交付を承
諾していただくようお願い致します。
裁判取り下げなどのご相談に関しましては当局にて受け賜
っておりますので、職員までお問合せ下さい。
尚、書面での通達となりますのでプライバシー保護の為、ご
本人様からご連絡いただきますようお願い申し上げます。

※取り下げ最終期日 平成 30 年〇〇月〇〇日

法務省管轄支局 〇〇訴訟〇〇センター
東京都千代田区霞が関〇丁目〇番〇号
取り下げ等のお問合せ窓口 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
受付時間 9:00～20:00 (日、祝日を除く)



おどし文句で
困ったことになる、
面倒なことになる、
という気持ちにさせる

ハガキ到着の翌日等、
期日を短く書き、
考える時間を与えない

「おかしいな？」
「困ったな！」
と思ったら

○福井県消費生活センター

☎(0776)22-1102

○福井県嶺南消費生活センター

☎(0770)52-7830

○消費者ホットライン

☎188(イヤヤ) お近くの消費者相談窓口につながります。

老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償

1 傷害保険 24時間型

2 傷害保険 活動型

自分がケガをした時の保険です。〈病気および他人に与えたケガは対象外です。〉

対 象：老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者に取りまとめる団体傷害保険です。

補償範囲：「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」

掛 金：〈◆24時間型〉お一人掛金年額 10,000円、5,000円、3,500円

〈◆活動型〉お一人掛金年額 2,000円、1,000円、500円

補償内容：死亡・後遺障害保険金(後遺障害保険金はクラブ活動中のみ)／入院保険金／
手術保険金／通院保険金

保険期間：掛金払込み日の翌月1日から1年間

3 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。〈自分のケガは対象になりません。〉

① 対 象：老人クラブ(全員加入が条件となります)

② 保険期間：毎年10月から1年間

③ 掛 金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)

④ 補 償：支払限度額1億円



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769

〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社

※この広告は「老人クラブ団体傷害保険 総合生活保険(傷害補償)」の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

17-T00982 平成29年4月作成 4